

平成 25 年 2 月 25 日

～在宅で暮らす高齢者の方々に安心と安全を～
**ケアサービスとフィリップス・レスピロニクスの
今後の協業化を前提としたテストマーケティングの実施について**
～高齢者向け緊急通報サービス～

株式会社ケアサービス（本社:東京都大田区／代表取締役社長:福原敏雄／以下:ケアサービス）は、フィリップス・レスピロニクス合同会社（本社:東京都港区／職務執行者社長:ダニー・リスバーク／以下:フィリップス）が高齢者向けに提供する「フィリップス緊急通報サービス」を利用し、緊急通報サービスにおける今後の協業を前提としたテストマーケティングを開始いたします。

長年にわたり東京 23 区を中心に在宅介護サービスを手掛けるケアサービスと、在宅用、病院用人工呼吸器と呼吸ケア用品、睡眠時無呼吸症候群検査／治療機器、緊急通報サービスの 5 事業を主軸に事業展開しているフィリップスの事業ノウハウを合わせることで、高齢のご利用者のご家族の皆さまに既存のサービス領域を越えたサポート体制を構築し、さらなる安心と安全を提供することを目指します。

一 高齢者のみの世帯の増加により、見守りに対するニーズは高まっています

近年、急速に進展する少子高齢化の中で、高齢者のみの世帯が増加しています。厚生労働省の 2011 年度の統計によれば、65 歳以上のひとり暮らしの世帯および夫婦の世帯数は約 1,600 万世帯となっており、年々増加傾向にあります。

また、同居する子供や孫世代が働いているため、日中は高齢者ひとりになってしまういわゆる『日中独居』世帯も多く存在し、高齢者に対する日々の安心・安全サポートのニーズは高まっています。

それに対応して有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設も増えていますが、一方で住み慣れた街、住み慣れた家に住み続けたいというニーズも非常に強く、ケアサービスにおいても多くのご利用者のご家族の方々から既存の介護保険サービスを含めた多機能・複合的なワンストップサービスの提供を求められています。

こうした状況を踏まえ、ケアサービスでは、お客様の声に応える取り組みの第 1 弾として、フィリップスと共同で、ケアサービスの顧客マーケット基盤を活用した緊急通報サービスのテストマーケティングを実施いたします。

一 救急車で搬送された高齢者の事故のうち、8 割以上が転倒と転落・滑落によるものです

東京消防庁の 2010 年度の統計によると、一般負傷により救急車で搬送された高齢者の事故発生時の動作

のうち、転倒が全体の 72.1%、転落・滑落が 8.8%となっており、併せて 8 割以上を占めています。転倒場所に関しては、家具類、布団、電気コード、敷居につまずくなど、慣れた場所であっても、身の回りの様々なものが原因で転倒する危険性が高くなっています。また、一度転倒すると、転倒への恐怖心から、転倒を繰り返す危険性が増すと言われています。

ー フィリップス緊急通報サービスは、ご利用者の転倒を自動で検知し通報します^{注1}



フィリップス緊急通報サービスは、固定電話に取り付けるだけで使用可能な緊急通報サービスです。救助が必要な時は、首から下げたペンダントのボタンを押すことで、24 時間 365 日いつでもコールセンターである安心サポートセンターを呼び出すことができます。

自治体など他の法人が提供を行っている類似したサービスはありますが、大きく異なるのは、ペンダントに転倒検知機能^{注1}が付いていることです。自宅での高齢者の転倒を検知^{注1}して、自動的に安心サポートセンターに通報します。

また、ペンダントは防水加工のため、滑りやすく転倒事故の多い浴室でもご利用いただけます。すでにフィリップス緊急通報サービスは北米では"Philips Lifeline"というサービス名で知られており、70 万人の契約者、シェア No.1 を誇ります。※2011 年北米（米国・カナダ）での利用実績による。

参照：フィリップス・レスピロニクス フィリップス緊急通報サービス

<http://www.hmservice.philips.co.jp/>

ー 転倒検知¹機能 通報から駆け付けまでの流れ

①ペンダントがご加入者の転倒を検知^{注1}します

高齢者の事故で多いとされる自宅での転倒・転落が発生した後、ペンダントが 96%の確率で転倒を検知します。

②自動的に安心サポートセンターへの通報を行います

ご加入者が転倒によりケガにより立ち上がれない場合や、意識を失いペンダントを押せない場合でも立ちあがる動きが確認できないと、約30秒後にペンダントが自動的に安心サポートセンターに通知します。

③ご加入者の状況を判断し、救助を依頼します

安心サポートセンターが通信機本体からご加入者に呼びかけて、体調やケガの状態などを確かめます。

救助が必要な場合には、協力員へ救助依頼や救急車を要請します。^{注2}

また呼びかけに応答がないなど、ご加入者の状態が不明なときは、すぐに協力員に連絡し、救助を依頼します。さらに必要と判断した場合には、救急車を要請します。^{注2}

④事前に登録された協力員が救助に向かいます

協力員が、ご加入者のご自宅にすぐに駆けつけます。協力員の到着後、安心サポートセンターはご加入者のご自宅に連絡し、他に必要な事があるか確認します。

※万が一、協力員に連絡が取れない場合は、有料にてサービススタッフが駆けつけます。

※サービススタッフによる駆け付けは、緊急時の状況確認を目的とするもので、介護等の人的サービスを提供するものではありません。

⑤事前に登録された通知者に連絡します

安心サポートセンターからご家族や担当のケアマネージャーに連絡し、ご加入者の救助を行ったことをご報告します。

一 テストマーケティング概要

・テスト期間

2013年2月25日（月）～2013年4月30日（火）

・テスト地域

大田区全域、世田谷区一部、品川区一部

・テストモニター

70歳以上の男女

※テスト期間にて、テストモニターへのヒアリングを中心に本サービスの評価を実施し、2013年4月または5月を目途にサービスの販売開始を予定しております。

■ 株式会社ケアサービス 会社概要

代表者： 代表取締役社長 福原 敏雄

本社： 東京都大田区

資本金： 2億512万5千円

創立： 1970年10月

事業内容： 在宅介護事業、エンゼルケア事業、サービス付き高齢者向け住宅事業

証券コード番号： 2425 JASDAQ 上場

■ フィリップス・レスピロニクス合同会社 会社概要

代表者： 職務執行者社長 ダニー・リスバーク

本社： 東京都港区

出資金： 1億円

創立： 1984年9月

事業内容： 在宅用、病院用人工呼吸器と呼吸ケア用品、睡眠時無呼吸症候群検査／治療機器、緊急通報サービス

<<本件に関するお問い合わせ先>>

株式会社ケアサービス

経営企画グループ 福原

TEL：03-5713-1611 FAX：03-5713-1650

E-Mail: ir@care.co.jp

注1 96%の確率で転倒を検知し、通報します

注2 地域によっては要請できない場合があります